

ODK（オーラルディアドコネシス）記録シート

公式判定：/pa/・/ta/・/ka/を各5秒測定し、1秒当たりの回数へ換算します。

氏名		ID	
測定日		評価者	

① 公式判定欄（5秒測定）

できるだけ速く反復してもらい、5秒間の発音回数を記録します。義歯装着者は、義歯を装着した状態で測定します。

音節	主にみる運動	5秒間の 発音回数（回）	1秒当たり （回/秒）	判定	観察メモ
/pa/	口唇				
/ta/	舌前方				
/ka/	舌後方				
総合判定					

判定基準：/pa/・/ta/・/ka/のいずれか1つでも6回/秒未満の場合、「舌口唇運動機能低下」に該当します。

② 測定条件・観察メモ

姿勢		義歯		カウント方法	
明瞭性・リズム				息継ぎ・疲労	

③ 任意：追加試行・再評価記録

2試行・最大値採用などは公式の必須条件ではありません。施設内ルールや再評価目的で追加する場合は、採用方法も記録します。

音節	追加5秒回数	追加 回/秒	採用方法・種別	観察メモ
/pa/				
/ta/				
/ka/				

注意：ODKで舌口唇運動機能低下に該当しても、それだけで「口腔機能低下症」や「嚥下障害」が確定するわけではありません。

根拠：日本歯科医学会「口腔機能低下症に関する基本的な考え方」（令和8年3月）

<https://www.jads.jp/assets/pdf/basic/r08/document-260511.pdf> | <https://www.gerodontology.jp/committee/001190.shtml>